



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビシステムズ社、 HTTP Dynamic Streaming と Open Source Media Framework を発表

【2010年6月18日】

Adobe Systems Incorporated (Nasdaq: ADBE) (本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は、米国時間 2010年5月11日に、Flash® Platform によるメディアストリーミングに新たなプロトコルをサポートする「HTTP Dynamic Streaming」と、カスタムメディアプレイヤーの開発を加速する「Open Source Media Framework」を発表しました。

HTTP Dynamic Streaming は、既存の Web サーバーに加えるだけで、HTTP プロトコルを使用した標準の MP4 ビデオのストリーミング配信を可能にする技術で、無償でダウンロードして利用できます。HTTP Dynamic Streaming を可能にする 2つのコンポーネントがダウンロードできる Web サイトの日本語版も開設されました。

HTTP Dynamic Streaming は、H.264 や VP6 など、Flash Platform が現在サポートする高品質のメディアコーデックのすべてをサポートしているため、高品質のライブ (ライブについては本年秋以降) とオンデマンドビデオを、既存のインフラストラクチャーと Web サーバーを使って配信できます。HTTP Dynamic Streaming で配信されるコンテンツの視聴には、先日提供を開始した Flash Player 10.1 や Adobe® AIR®2、または OSMF (Open Source Media Framework) を使って開発された再生環境を利用できます。また、Flash Access2.0 (日本では今夏正式発表予定) と一緒に利用することで、コンテンツ保護を加えたコンテンツ配信も、Flash Player 上で実現できます。アドビシステムズは、6月11日に提供を開始した Adobe Flash Player 10.1 や AIR 2 など、様々な OS や端末で同じように動作するコンテンツ、動画、アプリケーションの開発と配信を目的に、デザイン・開発プラットフォームである Flash Platform のさらなる充実と拡張に取り組んでいます。HTTP Dynamic Streaming と Open Source Media Framework という最新技術の発表もその一環です。

アドビシステムズ社のデジタルイメージング & リッチメディアソリューション担当シニアディレクターであるジェニファー テイラー (Jennifer Taylor) は、「アドビシステムズ社は、メディア再生ソリューションの革新と開発を継続しています。これにより、動画コンテンツの保護と収益化、そして Flash Platform へのメディア配信の新たな選択肢が実現します。そしてお客様やパートナー企業は、ビジネスの新たな成長機会の獲得と、収益性の向上が可能となります。Flash テクノロジーは、Web で閲覧されている動画の約 75% で使用されており、アドビシステムズ社と放送・メディア関連の当社のお客様は、この技術により業界を牽引し、デジタルビデオ業界によるリッチメディアの作成と使用方法に革新を起こしています」と述べています。

また、DIRECTV の新規メディア・ビジネス開発担当シニアバイスプレジデントであるスティーブン ロバーツ (Steven Roberts) 氏は、「DIRECTV は、TV、Web、モバイル端末で、優れたユー

ザ一体験を届けることに力を注いでいます。当社がコンテンツ配信に Adobe Flash Platform を使用するのには、Adobe Flash Player のユビキタス性と、Flash テクノロジーが提供する品質や、DVR 機能などの先進機能が当社のコンテンツ配信サービスにとって欠かせないものだからです。アドビシステムズ社の HTTP Dynamic Streaming と Limelight Networks のグローバルな配信プラットフォームのパワーとイノベーションを活用することにより、お客様のオンライン体験と帯域幅の有効利用を最大限に向上できることを、心から嬉しく思います」と述べています。

表現力豊かなインタラクティブ体験と共に映像配信したり、より強固なコンテンツ保護が可能なストリーミングサーバーとしては、これまで通り RTMP (Real Time Message Protocol) を使用した Flash Media Server 3.5 を利用できます。今回発表した HTTP Dynamic Streaming コンポーネントの提供により、既存のネットワークインフラストラクチャと標準的な Web サーバーハードウェアを使用できるようになり、これまで以上に柔軟な映像配信が実現します。

Open Source Media Framework (OSMF) の提供開始について

OSMF は、カスタムメディアプレイヤーを開発するためのオープンな枠組みです。この新たな枠組みにより、Web 上のメディアプレイヤーのための業界標準が確立されます。すぐに開発にとりかかれるコンポーネントを提供することで開発プロセスの合理化を促進し、コンテンツパブリッシャーは再生技術の開発や統合に費やしていた時間を短縮することができます。

OSMF 1.0 は米国時間 5 月 27 日に提供を開始しており、osmf.org では、開発者向けの最新情報やコンポーネントがダウンロードできます。すでに多くの企業や著名なサイトで OSMF プレイヤーが採用されています。さらに、Adap-tv、Akamai、Anvato、Conviva、Edgecast、FreeWheel、GlanceGuide、KickApps、Level 3Limelight Networks、MediaMelon、オムニチュア (アドビシステムズ社傘下)、Podaddies、Quantcast、ScanScout、Streaming Media Hosting、Tremor MediaVideoplaza、YuMe など、広告、解析、コンテンツ配信、およびプラットフォームサービスの分野でも、複数のパートナー企業がすでに OSMF 向けのプラグインを提供しています。

HTTP Dynamic Streaming の Web サイト :

<http://www.adobe.com/jp/products/httpdynamicstreaming/>

Open Source Media Framework の Web サイト :

www.osmf.org

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。